

「女性消防士として」

四條畷消防署救助隊 消防副士長 井尻 亜由美（平成20年入職）

消防士になりたい！！

私は小さい頃から体を動かすことが好きで、将来は体力を活かせる仕事、人の役に立てる仕事がしたいと考えており、高校時代に真剣に将来を考えた時やりたい仕事は消防士だと強く思いました。しかし、当時は女性職員の採用に対し消極的な傾向があり就職が難しかったのですが、そんな頃に四條畷市職員の追加募集の案内を見つけ受験しました。



女性救助隊として



平成26年に組合消防となった後、救急隊として勤務していたのですが、平成27年に救助隊に配属されました。まだ救助現場の経験も少なく、体力的にも男性職員には劣ります。しかし、女性特有の器用さや救急活動で培った知識や経験を活かし日々訓練や業務に取り組んでいます。今は救助隊の一員として、自分ができることを考え、行動していくために広い視野を持ち、活動するよう心がけています。

やりがい

皆さんは消防の仕事にどんなイメージがありますか。実際の仕事は体力的、精神的に辛いことがほとんどです。しかし、救急や救助現場で辛いことがあっても感謝の言葉を貰った時はそれまでの辛さを忘れてしまう程のやりがいを感じられる仕事でもあります。大東四條畷消防本部の一員となって、私たちと一緒に成長しませんか。熱い気持ちを持った皆さんと働けるのを楽しみにしています。

